

# 組付要領書及び部品表

# Takakita

オートラップマシーン用  
オイルクーラアタッチ

WM-OC

適用機種

WM1120

WM1121



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために  
必ず本組付要領書をお読みください。  
お読みになった後も大切に保管してください。  
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや  
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

# は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**オートラップマシーン用オイルクーラアタッチ**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。また、ご使用前には作業機本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

## ⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

**⚠ 危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

**⚠ 警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

**⚠ 注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

# 目 次

---

|                          |   |
|--------------------------|---|
| オイルクーラアタッチの組付け . . . . . | 1 |
| 配線図 . . . . .            | 6 |

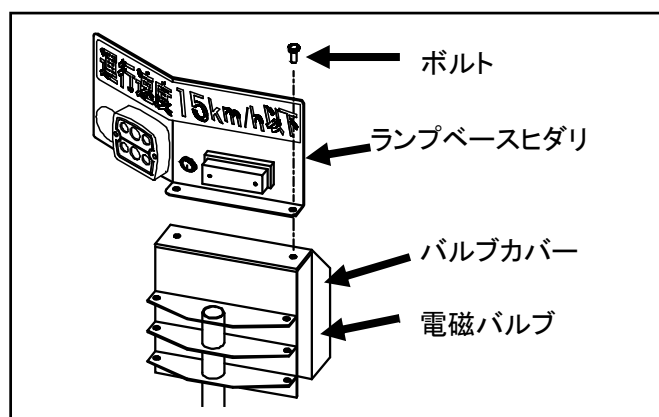
## オイルクーラアタッチの組付け

このたびはオイルクーラアタッチをお買い上げいただき、ありがとうございます。組付け前には、必ずこの組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。

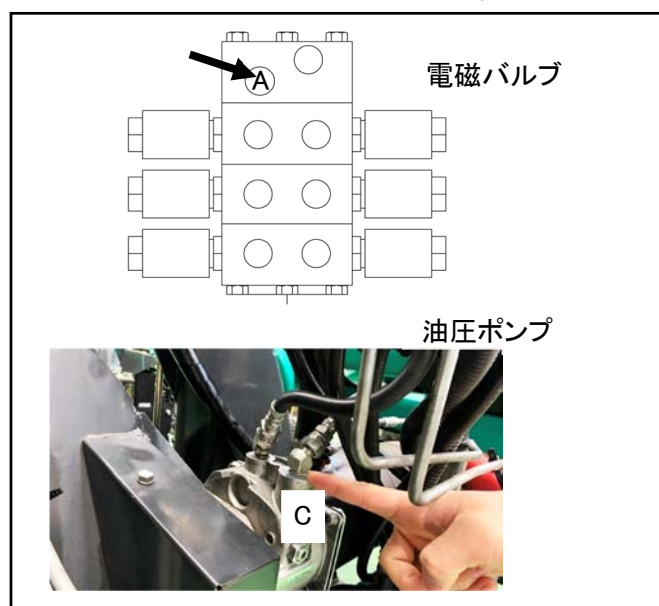
●開梱されましたら、組付前に部品表の部品が全て含まれているかをご確認のうえ、組付けてください。

### ◆組付け手順

- ①作業機左側の電磁バルブ上部のボルトM8×20(3P)を外し、バルブカバーとランプベースヒダリ(WM1121のみ)を取り外してください。

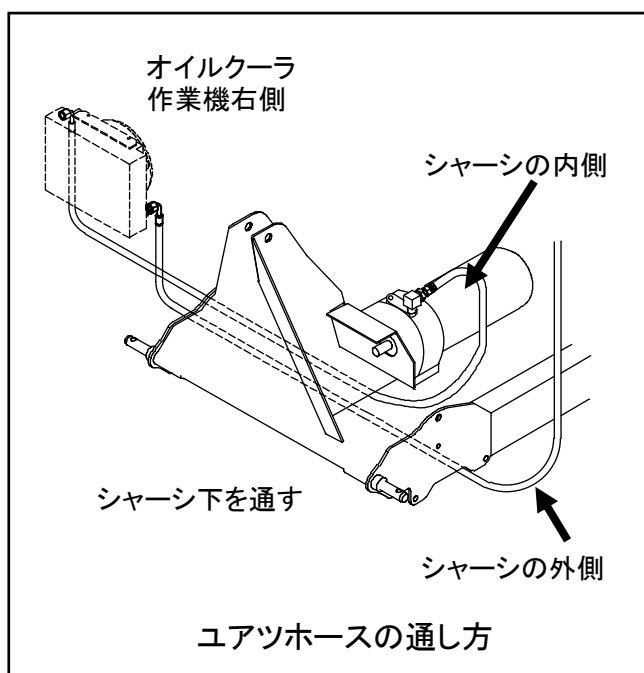
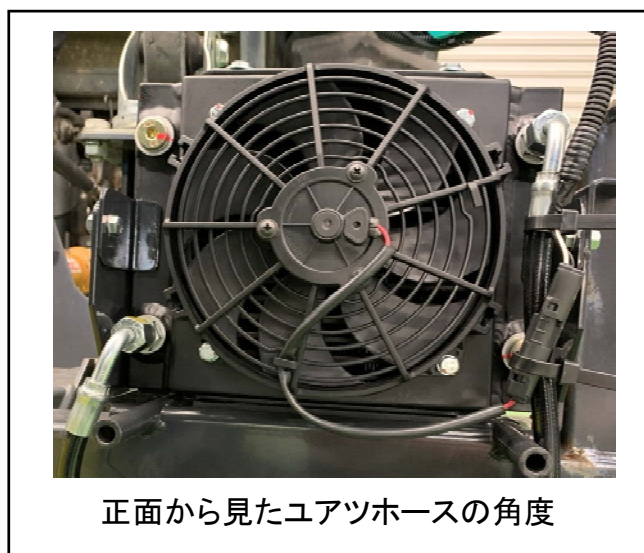
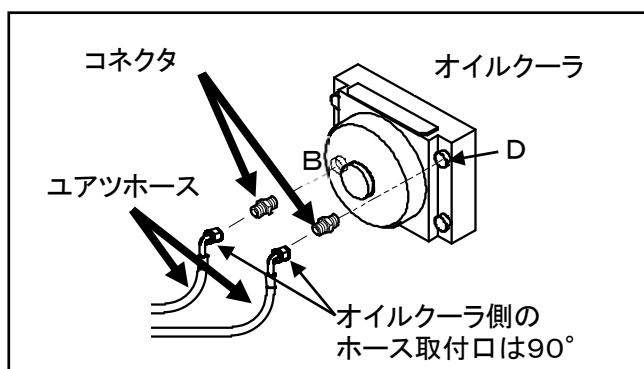


- ②電磁バルブ左上(A)のコネクタとそこから油圧ポンプにつながるユアツホースを外してください。※油圧ポンプに組付いているコネクタ(C)は外しません。



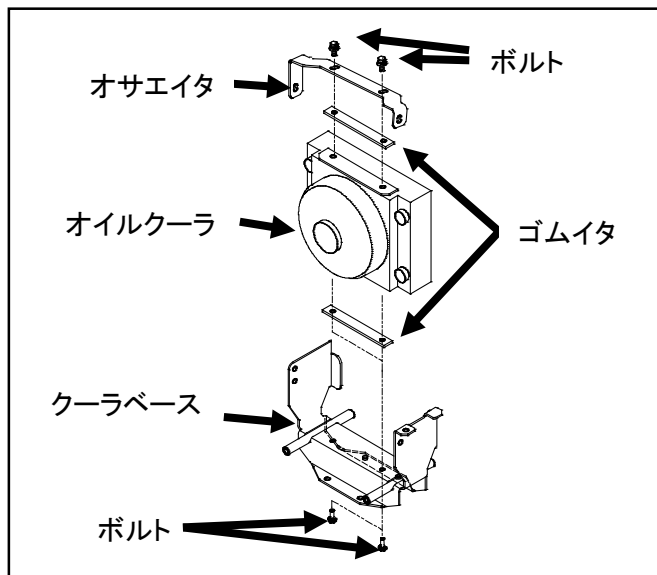
- ③AにL型コネクタを、オイルクーラのB、Dにコネクタを取り付けます。ユアツホースをシャーシ下へ通し、A-B、C-Dになるように取り付けます。

※ユアツホースを通す位置に注意してください（次図参照）。

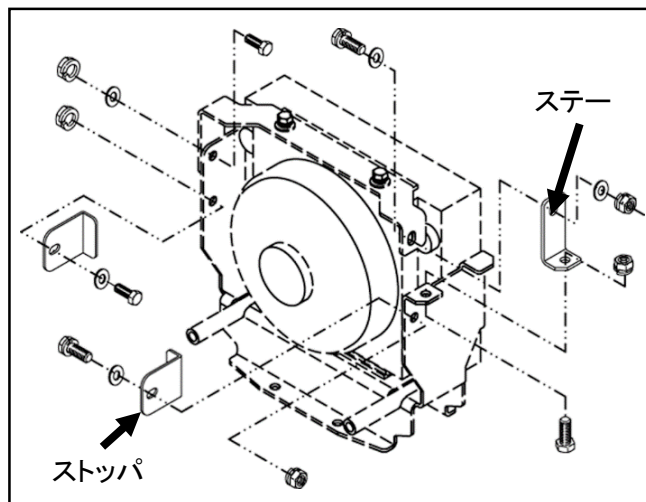


## オイルクーラアタッチの組付け

- ④クーラベースにオイルクーラ、オサエイタおよびゴムイタをボルトM6×25(3P)で仮留めしてください。



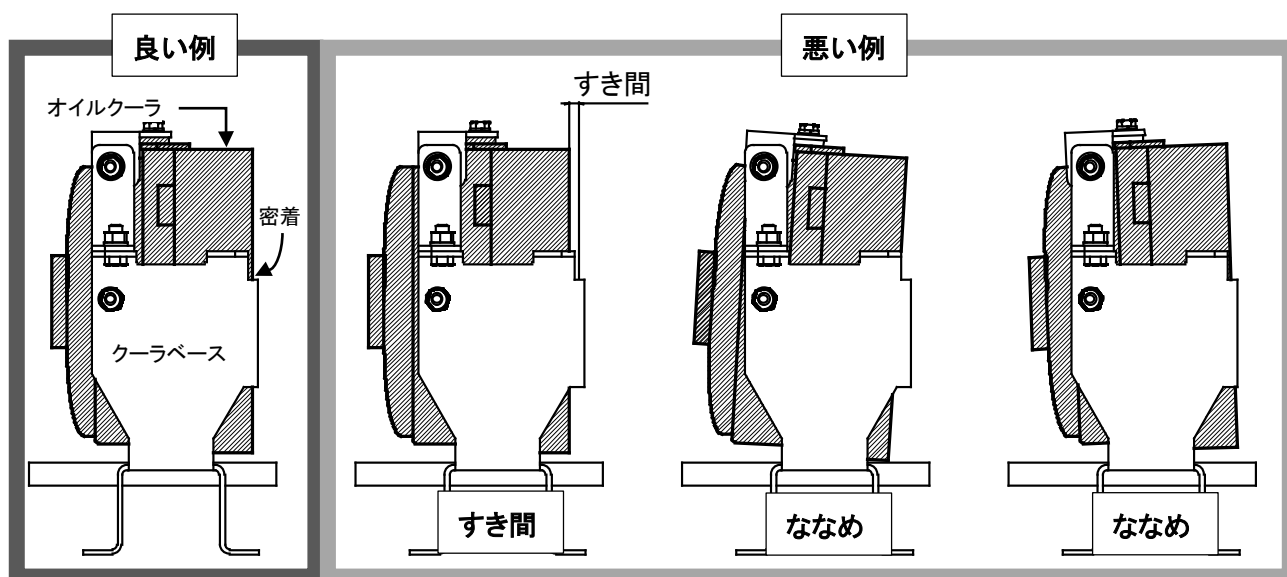
- ⑤ボルトM8×20、ヒラザガネM8およびスプリングナットM8でステーおよびストッパを仮留めしてください。



次図を参考に、オイルクーラ背面がクーラベースに密着するようにストッパで押し当てながら調整・固定し、④⑤のボルト類を締め付けます。

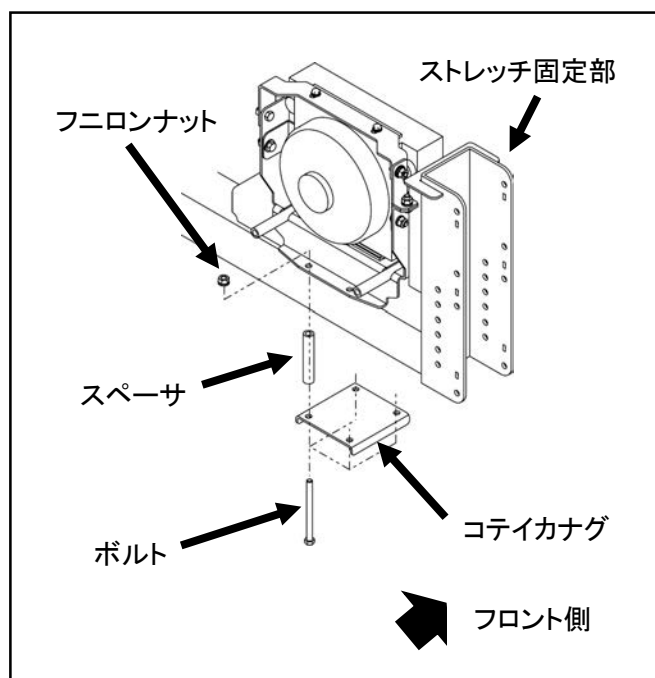
### ⚠ 注意

調整をおろそかにすると、振動等により故障の原因となります。

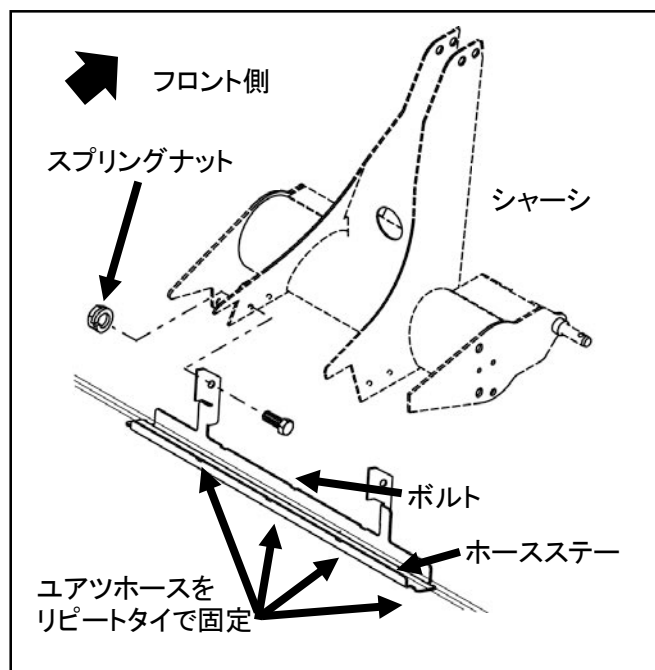


## オイルクーラアタッチの組付け

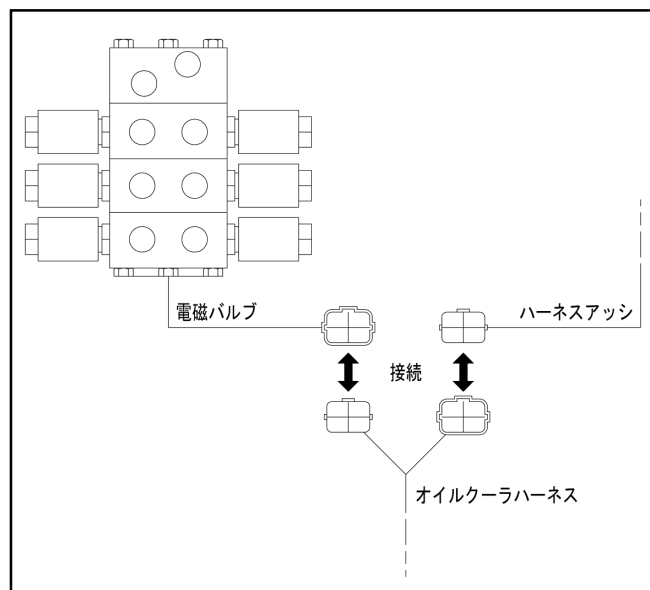
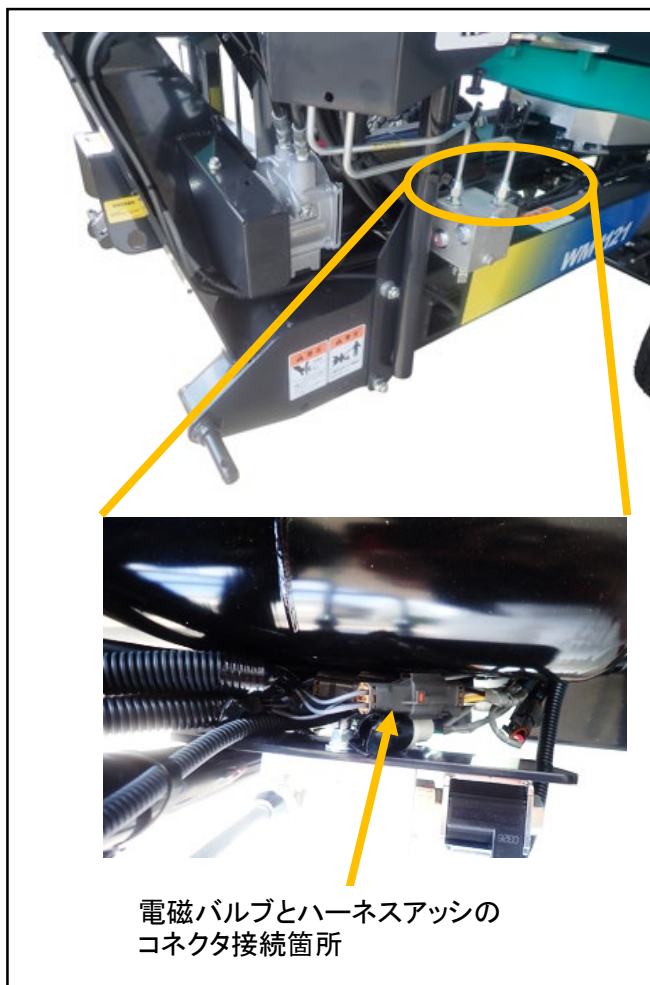
- ⑥作業機右側のストレッチ固定部に、クーラベースをはめこみ、コティカナグ、スペーサ、ボルトM8×100およびフニロンナットM8で固定してください。



- ⑦ユアツホースとホースステーをリピータイで軽く固定し、シャーシにホースステーをボルトM8×20およびスプリングナットM8で組付けます。  
その後、しっかりとリピータイを締めます。



- ⑧オイルクーラハーネスを、電磁バルブのコネクタとハーネスアッシのコネクタの間に割り込ませます。

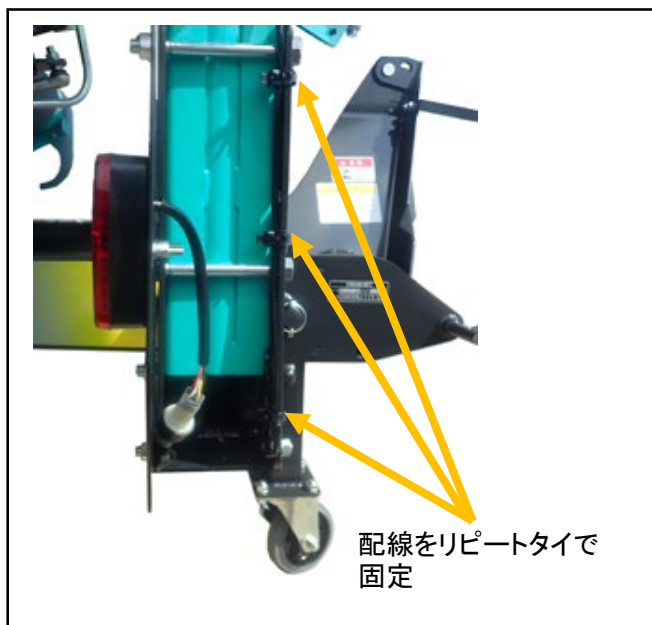


## オイルクーラアタッチの組付け

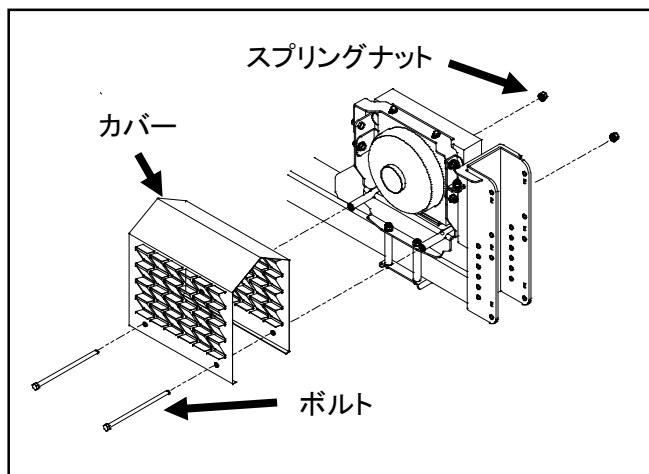
- ⑨オイルクーラハーネスを角パイプの中に通し、作業機右側まで配線を移動させます。



- ⑩オイルクーラハーネスを他の配線と同じ位置にリピータイで固定し、角パイプから配線が出てこないようにしてください。その後、オイルクーラのコネクタと接続してください。

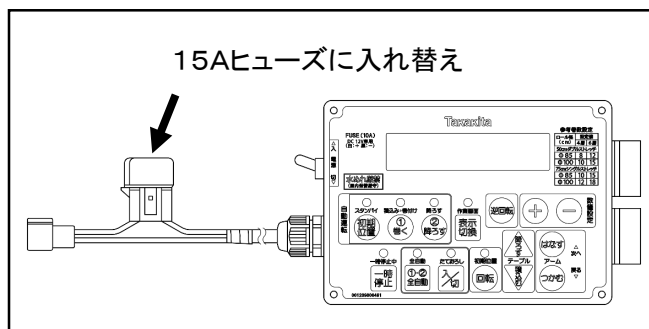


- ⑪カバーをボルトM8×170とスプリングナットM8で組付けます。

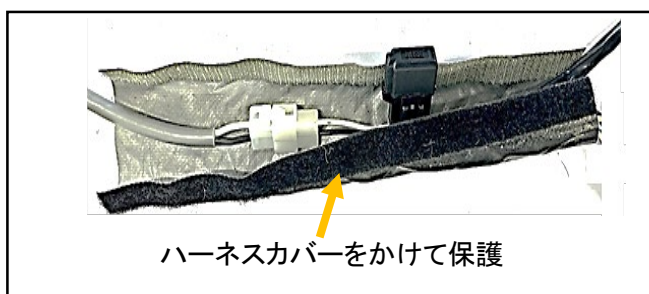


- ⑫⑪で外した部品を逆の手順で組付けます。

- ⑬コントロールボックスのヒューズを付属の15Aヒューズに入れ替えてください。

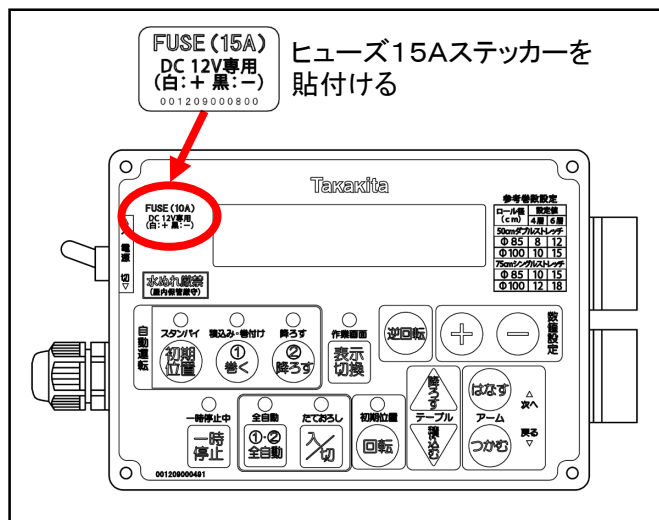


- ⑭接続した15Aヒューズ付近のハーネスは熱くなるので、付属のハーネスカバーをかけて保護してください。

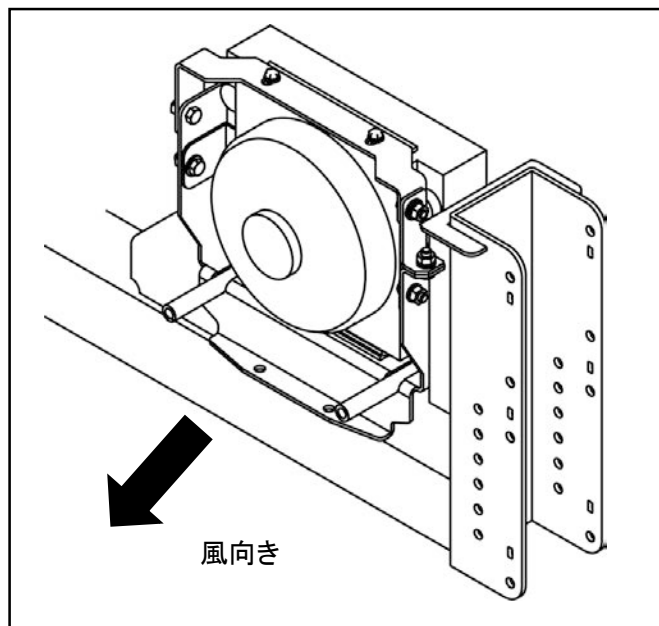


## オイルクーラアタッチの組付け

- ⑮コントロールボックス上のステッカーに「FUSE (10A) DC 12V専用 (白: + 黒: -)」と表記している上にヒューズ 15Aのステッカーを貼付けてください。



- ⑯コントロールボックスの電源を入れ、オイルクーラが作動しているかを確認してください。



### 注意

適時オイルISO VG68(タンク容量4L)を追加してください。詳しくは、本体側の取扱説明書をご参照ください。

### 注意

電源が入っていると消費電流が多いので、エンジンを停止しているときはコントロールボックスの電源を落としてください。

## 配線図

